

令和3年度一般選抜試験問題

金沢美術工芸大学

学科・専攻	実技試験Ⅰ	実技試験Ⅱ
	鉛筆写生 モチーフ 「根巻き麻布」「自在クランプ」 「袋入り培養土」「種芋」「葉つき燕」 「植物用活力剤ボトル10本パック」	着彩写生 及び 面接 モチーフ 「青色ファー布」「自在クランプ」 「桔梗苗ポット」「春菊」「球型平打ちパスタ」 「500ml炭酸4本パック」
油 画	実技試験（木炭デッサン 又は 鉛筆デッサン） 石膏像 聖ジョルジョ胸像をデッサンしなさい。 背景の有無は自由とするが、試験用紙は縦位置で使用すること。 作品提出（油彩 又は アクリル）・面接 自画像を描きなさい。	
彫 刻	木炭デッサン 又は 鉛筆デッサン 「石膏像ゲタ」をデッサンしなさい。	塑造・スケッチ・面接 自分の手と、幾何形体（立方体・四角柱・四角錐・円柱・円錐・球）の中から1つ以上を選択し、自由に構成しなさい。
芸術学 (選択)	実技試験（鉛筆デッサン）・面接 与えられたモチーフをデッサンしなさい。「かぼちゃ1個」「リンゴ(赤)1個」 小論文・面接 図版Aと図版Bの作品をよく観察し、何がどのように描かれているか、それぞれ600字程度で記述し、さらに両者を比較して、共通点や相違点を具体的にあげて600字程度で記述しなさい。 【図版A】作品名：プティ・レストラン 作者名：佐伯 祐三 【図版B】作品名：ジェノヴァⅠ 作者名：大竹 伸郎	
視覚デザイン	鉛筆デッサン 「自分の手」と「紙コップ」を自由に構成し、描写しなさい。	色彩構成 及び 作品説明・面接 果物と液体を想定して、清涼感のある画面を色彩構成しなさい。
製品デザイン	鉛筆デッサン 「スツール」「PET詰替ボトル」 「マウスウォッシュ」「瓶ビール」「タオル」 すべてを、提示された状態で鉛筆で描いてください。	製品のデザイン 及び 作品説明・面接 毎日食卓で家族が検温する非接触式温度計をデザインして下さい。
環境デザイン	鉛筆デッサン 台紙上のモチーフすべてを画面に収めて、鉛筆で描いてください。 「段ボール製小箱」「ペットボトル」「軍手」 「養生テープ」「スパナ」	立体構成 及び 作品説明・面接 都市の近郊に流れている川を想定し、配布された素材を用いて、川縁の環境に親しむことのできる形を立体物として表してください。 別紙に作品のタイトルと意図を記し、人々が親しむ様子を簡潔にスケッチしなさい。
工 芸	鉛筆デッサン 「チンゲンサイ」「イチゴ」「椀木地」 「毛糸」「ガラス瓶」「スコップ」「新聞紙」 をモチーフとし、下記の条件に従いデッサンしなさい。	色彩表現 与えられた「モチーフ」と「漢字」を構成し、条件に従って色彩表現をしなさい。

令和3年度

金沢美術工芸大学 美術工芸学部
美術科 油画専攻 一般選抜入学試験

実技試験

(木炭デッサン又は鉛筆デッサン)

問題

石膏像 聖ジョルジョ胸像をデッサン
しなさい。背景の有無は自由とするが、
試験用紙は縦位置で使用する事。

(保存・開示用) 事務局保存

金沢美術工芸大学 美術工芸学部 美術科 彫刻専攻

令和3年度 一般選抜

実技試験Ⅰ 木炭・鉛筆デッサン (令和3年3月11日実施)

試験問題

「石膏像ゲタ」をデッサンしなさい。

注意事項

- 1 机の上に置けるものは、デッサン用具、時計、ティッシュ(中身のみ)、受験票のみです。携帯電話は電源を切りカバンにしまってください。
- 2 試験時間は9時から11時半です。試験開始と試験終了の合図があります。
- 3 解答用紙裏面に受験番号記入欄がありますので、自分の受験番号を正しく記入してください。
- 4 試験中に気分の悪くなった人、トイレに行く人、その他、何かあれば黙って手を高く挙げて監督者に知らせてください。
- 5 試験終了の合図の後、解答用紙(デッサン)を回収します。指示があるまで座席を離れないでください。解答用紙回収後、確認作業をおこないます。その後、休憩時間となりますが、休憩室は別の教室になります。トイレ、荷物の準備が終了したら、全員揃って移動します。人と人との距離を保ちながら、マスク着用をお願いします。

休憩時以降

- 6 休憩時間中の昼食は同じ座席で済ませ、面接の順番が来るまで同じ席でお待ちください。受験番号順に案内係が面接室まで誘導します。荷物を持って移動してください。食事の時以外、マスクは常に着用してください。トイレに行く場合は、その旨伝え、係の人の指示に従ってください。密接を避けるため、トイレの待ち時間が生じる場合がありますので、ご了承ください。
- 7 面接が終わると試験はすべて終了です。各自トイレを済ませて、忘れ物がないか確かめてください。皆さんの帰宅の準備が整い次第、係の者が出口まで誘導します。

令和 3 年度

金沢美術工芸大学 美術工芸学部 美術科 芸術学専攻

一般選抜入学試験

実技試験問題

与えられたモチーフをデッサンしなさい。

試験時間 9:00～11:30

試験開始の指示があるまで、試験問題を見てはいけません。

注意事項

- 1 机の上に置けるものは、筆記用具、時計、ティッシュ(中身のみ)、受験票のみです。携帯電話は電源を切りカバンにしまってください。
- 2 試験の解答時間は9時から11時半です。試験開始と試験終了の合図があります。
- 3 小論文の試験問題には、「図版A」、「図版B」、そして試験問題があります。小論文では、「図版A」、「図版B」、そして「比較」と書かれた3種類(合計3枚)の解答用紙があります。試験開始後、試験問題、解答用紙、メモ用紙があるか確認してください。
- 4 それぞれの解答用紙右上の受験番号記入欄に、本学の受験番号を正しく記入してください。
- 5 試験問題や解答用紙の印刷不鮮明等の場合、黙って手を高く挙げて監督者に知らせてください。
- 6 試験中に気分が悪くなった人、トイレに行く人など、何かあれば黙って手を高く挙げて監督者に知らせてください。
- 7 試験終了の合図の後、解答用紙(3枚)を回収します。指示があるまで座席を離れないでください。解答用紙回収後、確認作業をおこないます。その後、休憩時間となります。試験問題、図版は持ち帰ることができます。

休憩時以降

- 8 休憩時間中の昼食は同じ座席で済ませ、面接の順番が来るまで同じ席でお待ちください。受験番号順に案内係が面接室まで誘導します。荷物を持って移動してください。食事の時以外、マスクは常に着用してください。トイレに行く場合は、その旨伝え、係の人の指示に従ってください。密接を避けるため、トイレの待ち時間が生じる場合がありますので、ご了承ください。

*実技試験受験者が休憩時、この教室に合流します。

- 9 面接が終わると試験はすべて終了です。各自トイレを済ませて、忘れ物がないか確かめてください。皆さんの帰宅の準備が整い次第、係の者が出口まで誘導します。

令和 3 年度

金沢美術工芸大学 美術工芸学部 美術科 芸術学専攻

一般選抜入学試験

小論文

図版 A と図版 B の作品をよく観察し、何がどのように描かれているか、それぞれ 600 字程度で記述し、さらに両者を比較して、共通点や相違点を具体的にあげて 600 字程度で記述しなさい。
[解答は別紙]

図版 A

作品名： プティ・レストラン
作者名： 佐伯 祐三
制作年代： 1927 年
材質・技法： 油彩、カンヴァス
大きさ： 54,1 cm×65,2 cm
所蔵： 個人蔵

図版 B

作品名： ジェノヴァ I
作者名： 大竹 伸郎
制作年代： 1985 年
材質・技法： 油彩、石膏、木炭、グワッシュ、チョーク、紙、木、木製パネルに紙貼
大きさ： 190×185 cm

令和3年度
金沢美術工芸大学 美術工芸学部
デザイン科 視覚デザイン専攻
実技試験Ⅰ(鉛筆デッサン)

受験番号	
------	--

【問題】

「自分の手」と「紙コップ」を自由に構成し、描写しなさい。

- ・紙コップの数や加工、変形は自由とします。
- ・画用紙の縦横は自由とします。
- ・画用紙の裏面中央に作品の上方向を矢印（↑）で記入しなさい。
- ・画用紙の裏面に受験番号を記入しなさい。

(注意事項)

- ・与えられたA4用紙は下書きに使用しなさい。
- ・使用できるものは、デッサン用具のみです。
(ただし、デッサンスケールやはかり棒、定規、フィキサチーフ、
電動消しゴムの使用を認めません)
- ・試験に関する質問は認めません。
- ・問題用紙、A4用紙は試験終了後すべて回収します。

令和3年度
金沢美術工芸大学 美術工芸学部
デザイン科 視覚デザイン専攻
実技試験Ⅱ(色彩構成)

受験番号	
------	--

【問題】

果物と液体を想定して、
清涼感のある画面を色彩構成しなさい。

- ・与えられた画材のみを使用しなさい。
- ・ボード全面に着彩しなさい。
- ・ボードの縦横は自由とします。
- ・ボードの裏面中央に作品の上方向を矢印（↑）で記入しなさい。
- ・作品にタイトルをつけて、裏面の受験番号の下に記入しなさい。

(注意事項)

- ・マスキングテープ、からすぐちの使用は認めません。
- ・色見本帳の使用は認めません。
- ・試験に関する質問は認めません。
- ・問題用紙、下書用紙は試験終了後、すべて回収します。

令和3年度

金沢美術工芸大学 美術工芸学部

デザイン科 製品デザイン専攻

実技試験 I

受験番号	
------	--

問題：

「スツール」「PET詰替ボトル」「マウスウォッシュ」「瓶ビール」「タオル」
すべてを、提示された状態で鉛筆で描いてください。

条件：1、全てのモチーフを画面に収めてください。

・モチーフの下の白い板は描かなくて良い。

2、用紙の縦横は自由とします。

注意：1、試験問題に関する質問は受け付けません。

2、問題用紙の空欄はメモとして使用し、受験番号を記入して画用紙と一緒に提出してください。

(足りない場合は裏面を使用してください。)

令和3年度

金沢美術工芸大学 美術工芸学部

デザイン科 製品デザイン専攻

実技試験Ⅱ 問題用紙

受験番号	
------	--

問題：

毎日食卓で家族が検温する非接触式温度計をデザインして下さい。

- 条件：
- 1、本体形状は握りやすく、美しく、食卓で自立すること。
 - 2、自分を検温すること、相手を検温することを考慮すること。
 - 3、額から3～5cmの距離で測定ボタンを押して検温できること。
 - 4、測定ボタン、温度表示部、温度測定部を含み、単四乾電池2本が入ること。
 - 5、本体の形状や材質、表面の仕上げや色彩はサンプルにとらわれず、自由に考えて下さい。
 - ・配布された草案用紙で複数のアイデアを検討して下さい。
 - ・粘土で造形と使い勝手を検討して下さい。

- 配布物：
- 1、画用紙（B3サイズ1枚）
 - 2、粘土、粘土ヘラ、粘土板、ビニール手袋
 - 3、非接触式温度計
 - 4、色鉛筆
 - 5、草案用紙（A3サイズ2枚）

- 提出物：
- 1、画用紙
 - ・デザインした非接触式温度計1点を、与えられた色鉛筆で精密に表現してください。
 - ・デザインポイントを画用紙の余白に、イラストや文章で表現してください。
 - 2、粘土で制作したモデルと粘土板
 - 3、問題用紙と草案用紙

注意：

- 1、試験問題に関する質問は受け付けません。
- 2、問題用紙、配布物は全て試験終了後に回収します。
- 3、粘土をこねる際に大きな音を立てないようにしてください。

受験番号

令和3年度 金沢美術工芸大学 美術工芸学部デザイン科 環境デザイン専攻
一般選抜 実技試験Ⅰ

【 問 題 】

台紙上のモチーフすべてを画面に収めて、鉛筆で描いてください。

【 条 件 】

- ・用紙の縦横は自由とします。

【 注 意 】

- ・問題に関する質問には答えられません。
- ・机に貼ってある受験番号札より左側にはみ出ることなく作業をしてください。
- ・スケールやはかり棒、定規は使えません。
- ・練り消しは音を立てないよう静かに使用してください。
- ・席から離れて画面を見ることは認めません。
- ・問題用紙の空欄や裏面はメモとして使用してください。
- ・問題用紙は試験会場からの持ち出しを禁止し、試験終了後に全て回収します。

受験番号

令和3年度 金沢美術工芸大学 美術工芸学部デザイン科 環境デザイン専攻
一般選抜 実技試験Ⅱ

【 問 題 】

都市の近郊に流れている川を想定し、配布された素材を用いて、川縁の環境に親しむことのできる形を立体物として表してください。別紙に作品のタイトルと意図を記し、人々が親しむ様子を簡潔にスケッチしなさい。

【 条 件 】

- ・ 立体物の大きさは台紙の幅、奥行の範囲とし、高さ 30 センチを超えてはいけません。

【 注 意 】

- ・ 問題に関する質問には答えられません。
- ・ 作業は自席に座っておこなってください。
- ・ 素材の切断は配られた厚紙の上でおこなってください。
- ・ 立体物は台紙に接着して、しっかり固定してください。
- ・ A4 サイズのコピー用紙は、形の検討や考えのまとめ等に使用してください。
- ・ 問題用紙、配布物は試験会場からの持ち出しを禁止し、試験終了後に全て回収します。

受験番号

【タイトル】

【意 図】

【スケッチ】



令和3年度 金沢美術工芸大学 工芸科

実技試験Ⅰ 「鉛筆デッサン」

問題

「チンゲンサイ」「イチゴ」「椀木地」「毛糸」
「ガラス瓶」「スコップ」「新聞紙」

をモチーフとし、下記の条件に従いデッサンしなさい。

<条件>

- ・ 画面は縦位置・横位置自由とする。
- ・ モチーフは、平らな床を想定し自由に配置しなさい。
- ・ 毛糸の外紙ははずさない。

<注意>

- ・ 配布した草案用紙を使用し、持参した紙やスケッチブック等は使わない事。尚、草案用紙は最後に回収する。
- ・ この問題用紙は昼食時間前に回収する。
- ・ この問題に対する質問には応じない。

<配布物>

- ・ 問題用紙 : 1枚
- ・ モチーフ : 「チンゲンサイ」1個、「イチゴ」1個、「椀木地」1個、
「毛糸」1玉、「ガラス瓶」1本、「スコップ」1本、「新聞紙」1部
- ・ 草案用紙 : 5枚

令和3年度
金沢美術工芸大学
工芸科
実技試験Ⅱ「色彩表現」

問題

与えられた「モチーフ」と「漢字」を構成し、条件に従って色彩表現をなさい。

条件

- ・モチーフは「デコポン」と「銀色紙」とする。
- ・画面内でのモチーフの数、大きさ、表現方法は自由とする。
- ・「漢字」は任意の一文字とし、書体、数、大きさ、表現方法は自由とする。
- ・画面は縦位置・横位置自由とする。
- ・画面用紙の表側上部真ん中に天地を表す○印を鉛筆で記入すること。

注意

- ・「デコポン」は加工せずにそのまま扱うこと。
- ・「銀色紙」の扱いは、切る、折る、ちぎるなど自由とする。
- ・「銀色紙」を切る際には配布物のハサミのみを使用すること。
- ・草案用紙を配布するので、持参した紙やスケッチブック等は使わないこと。
- ・この問題用紙は昼食時間前に回収する。
- ・モチーフと草案用紙とハサミは試験後に回収する。
- ・この問題に対する質問には応じない。

配布物

- ・問題用紙：1枚
- ・モチーフ：「デコポン」1個、「銀色紙」1枚
- ・草案用紙：5枚
- ・ハサミ：1丁